令和５年度坂部小学校グランドデザイン

学校教育目標　**心豊かで　たくましい坂部の子**

〈榛中学区内小中学校教育目標〉
榛原中：こころざしを育てる
川崎小：正しく 豊かに たくましく
細江小：強く 正しく すこやかに
勝間田小：かしこさ ありがたさ しなやかさ

国・県教育振興基本計画
牧之原市教育大綱
こころざしを持ち 夢ある人づくり

令和５年度育てたい資質・能力「次代を切り拓く力」
- 活用力（自分が学習したことや得た情報等を、実生活や自分の将来に活かすことができる力）
- 創り出す力（新しい考えやアイディアを創り出し、主体的に実行する力）
- 課題発見・解決力（疑問を持ち、解決に向けて行動したり、新たな価値を生み出したりする力）
- 多様性を受容する力（自分自身を知り、他者（社会）を理解し、受け入れる力：思いやり　等）
- コミュニケーション力（相互に思いを伝え合い、聴き合い、共感しながらよりよい関係を築く力）
- 生きる力の基礎・基本（心身のたくましさ、自己肯定感など、人が生きていく上で大切な部分）
窓口）基礎的な知識・技能（考え、行動する上での基礎・基本となる力）

未来に向けて）９年間のつながりを意識した榛原中学校区内小中一貫教育の推進
〇社会で生きていくために必要な力を身に付けるキャリア教育の推進　〇合同研修、交流活動

かかわるステージ
人･もの･ことにかかわる

- 企画委員会
- 二部会
- 教務会
- 職員会議

P

知）学ぶことを楽しいと感じ、自ら追究し、共に学び合おうとする力を育てる
〇魅力ある授業づくり「学校教育の中心は『授業』である」
「聞く（反応する）、考える、話す」を更に意識した授業構想

【重点評価項目】
- 授業が分かる（児童９０%、保護者９０%）
- 最後まで考えながら聞いている（児童１００%）
- 家庭学習を毎回忘れずにやっている（児童１００%、保護者９０%）

チャレンジステージ
課題やめあてに挑戦する

D

徳）自ら関わり、互いの「よさ」や「違い」を認め合える力を育てる
〇児童理解と個に応じた支援の充実
〇「よさ」や「違い」を認め、誰もが生き生きと活躍できる共生社会づくり
- 特別支援教育の理解と活動の充実
- 特別支援学級や福祉施設等との交流を通した思いやりの心の育成

〇自尊感情を高める活動（よさ見つけ等）
〇坂部しぐさの継承と発展（本物の自慢に）
〇教育活動全体を通して道徳性を養う
〇子供の創意を生かし「楽しい学校づくり」「よりよい学校づくり」を目指した児童会活動

【重点評価項目】
- 学校が楽しい（児童 95%、保護者 100%）
- 家族や地域の人に自分から元気にあいさつをしている（児童９５%、保護者９５%）
- 自分にはよいところがある
（児童９０%、保護者８５%）
- よいと思ったことを進んで行うことができる
（児童９０%、保護者９０%）

【重点目標】
夢中になって　ともに取り組む子

体）健康や安全について考え、ともに鍛える力を育てる
〇体づくりに関する指導　・体力アップカード等を活用し主体的に取り組む場の設定
〇健康づくりに関する指導（心と体を整える場）
- 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

〇食に関する指導
- 食事のマナーや大切さを学ぶ食育指導

〇安全に関する指導（防災・防犯教育、交通安全指導で「自分の身は自分で守る」意識の徹底）

【重点評価項目】
- 交通安全に気を付けて生活をしている
（児童１００%、保護者１００%）

チーム坂小）笑顔があふれ、語り合い磨き合える職員集団をつくる
〇語り合い、笑い合える職員室（不祥事根絶に向けた声掛け）

【重点評価項目】
- よさやがんばりを認める支援（教職員１００%）
- やりがいを持って取り組む（教職員１００%）

- 学校評価
- 振り返り
- 定着度調査

C

A

信頼と絆）学校、家庭、地域が連携し、信頼される学校をつくるとともに、感謝の気持ちを通してふるさと坂部を愛する心を育てる
〇学校運営協議会を機能させたコミュニティ・スクールの推進
〇教職員自らが、率先垂範を心掛ける　　〇家庭やＳＣ、ＳＳＷ、外部機関等と連携した教育支援

【重点評価項目】
- ＣＳによって地域が好きになった、活動を知っている（児童１００%、保護者９０%）
- 学校職員は、子供を理解し、よさを伸ばす指導を行っている（保護者 100%）

つなげるステージ
次の自分につなげる

高め合うステージ
互いを認め更に高め合う

校歌の教え	校章に込められた思い	仲よし学校の精神
熱心・勤勉・質朴	勉学・気品・有為	感謝・思いやり・がまん